

受けよう! 女性のがん検診

対象年齢になったら「がん検診」を受診しましょう。

子宮頸がんや乳がんは、中高年だけでなく、若い世代も注意が必要です。
がんは予防でリスクを減らすことができますが、完全に防ぐことはできません。
そのため、定期的な検診で、**早期発見・治療**につなげることが重要です。

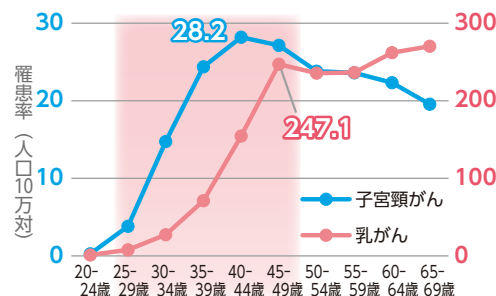


東京都がん検診啓発キャラクター
「モシカモくん」

若い世代も注意が必要です!

子宮頸がんは**20歳代後半**から、乳がんは**30歳代後半**から増加します。そのため、子宮頸がん検診は**20歳から2年に1回**、乳がん検診は**40歳から2年に1回**、受診することが大切です。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)
全国がん罹患データ(2023年)より作成



その考え、要注意です!



いつでも医療機関を受診できるから、がん検診は受けません。

がんは、症状が出るころにはかなり進行してしまっていることが多いため、症状が出る前に検診を受診し、見つけることが大切です。



めんどくさいから受診しないでいいよね?

がんは、初期には自覚症状がないことも多く、受診を先延ばしにすると発見が遅れる可能性があります。



健康診断や人間ドックの項目にないから受診しなくてもいいよね?

健康診断や人間ドックにがん検診がない場合は、別に受診しましょう。必要な検診が含まれているか、案内の確認が大切です。



検診は以下の場所で受診できます。

■お住まいの市町村

市町村では子宮頸がんと乳がんを含めた、5つのがん検診を実施しています。詳細はお住まいの市町村にお問い合わせください。

■お勤め先

詳細は各職場のご担当者にご確認ください。お勤め先で実施していない場合は、お住まいの市町村で受診できます。

■人間ドック等(任意)

自分で検診機関を選びたい場合は、人間ドック等をご利用ください。費用は基本的に全額自己負担となります。

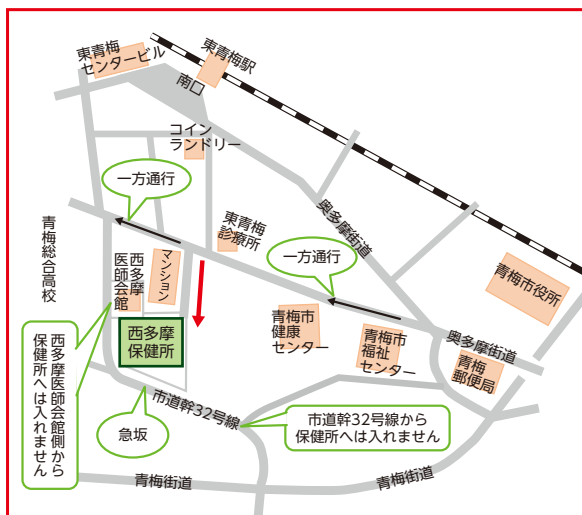
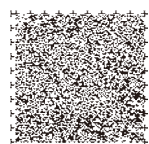
受診の先延ばし等をする、がんの発見が遅れてしまいます。

子宮頸がん・乳がん検診についての詳細を知りたい方は → TOKYO 女子けんこう部



【この記事に関する問合せ先】 西多摩保健所 市町村連携課 市町村連携担当

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」です。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を音声で聞くことができます。↓



編集・発行 東京都西多摩保健所

市町村連携課 企画調整担当

所在地 東京都青梅市東青梅一丁目167番地の15

電話 0428-22-6141 (代表)

F A X 0428-23-3987

E-mail S1153106@section.metro.tokyo.jp

最寄駅 JR 青梅線 東青梅駅 徒歩5分

登録番号 (8) 2

令和 8 年 8 月 発行



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。